

保護者の皆様

岸和田市教育委員会

脊柱側弯症機器検診の実施について（お知らせ）

平素は、本市の教育活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、学校医による内科健診にて、運動器検診を実施しているところですが、児童・生徒のさらなる健康維持増進を図るため、令和6年度より脊柱側弯症機器検診（デジタルモアレ検査）を実施することとなりました。

なお、本検査については、下記の対象者全員を受検の対象としますが、保護者の申出により受検しないことも可能です。具体的な日程等については各学校より改めてお知らせします。受検しない場合は、このときに各学校へ申し出てください。

記

1. 脊柱側弯症について

脊柱側弯症は、脊柱（背骨）がねじれるように側方に曲がってしまう病気です。先天性のものや外傷、腫瘍など、原因となるものが明らかなもののほか、特に原因のないものがあります。これを突発性側弯症といい、脊柱側弯症の80%以上を占めます。

突発性側弯症は、思春期に発症するものが最も多く、初期の段階では痛みなどの自覚症状がなく周囲も気づかないことが多いのが特徴で、早期に発見し、適切な治療を行うことが重要です。

脊柱側弯症を放置すると、肩やウエストの高さが左右違うなどの外見上の問題の他、高度の彎曲になると、腰背中部痛に加え胸の圧迫と変形による呼吸器障害・循環器障害など内臓にも影響を及ぼすなど様々な病気を引き起こす可能性があります。

2. 検査対象者

- (1) 小学校5年生全員
- (2) 中学校1年生全員
- (3) 内科健診時に学校医より脊柱側弯症の疑いで指示があった児童・生徒の希望者

3. 一次検査の場所・日程

- (1) 場所：各学校にて
- (2) 日程：2学期中

※一次検査の結果、要二次検査と判定された場合は、3学期に脊柱部X線撮影を実施します。

4. 検査実施機関

医療法人 厚生会

5. 検診方法（デジタルモアレ・トポグラフィー法）

- (1) 赤外線照射で背中に等高線の縞模様を映し出し、その形状と左右対称の様子で側弯の程度を検査します。正常な場合は、縞模様が左右対称となりますが、側弯症の場合は、左右非対称の縞模様になります。（身体に影響を与えることのない検査方法です。）
- ※一次検査で要二次検査と判定された場合は、脊柱部X線撮影を実施します。日時などの詳細は、別途個別にお知らせいたします。



正常な場合

異常のある場合

- (2) 検査スペース内では上半身を脱衣し、下着をお尻の真ん中ぐらいいままでずらして背中側から撮影します。外から見えなようにカーテンをした室内で、周りから見えなように衝立てで囲い、個別の検査スペースを作り、児童・生徒のプライバシーの保護には十分配慮したうえで実施します。女性の検査員が対応します。



【モアレ検査の様子（イメージ図）】



(実際に使用するデジタルモアレ機器)

※立位の仕方について、検査員が側で声かけしながら少し身体に触れることがあります。

【お問い合わせ先】

岸和田市教育委員会
教育総務部総務課 保健担当
TEL 072-423-9638 (直通)